



平成 29 年度 栄区セーフコミュニティ推進協議会

日時:平成 29 年4月 27 日(木) 16 時 30 分から
場所:栄区役所 新館1階 健康相談室 A・B

1	セーフコミュニティ事前指導について	3 頁
2	傷害サーベイランス分科会の体制変更について	5 頁
3	プロモーションについて	7 頁
4	セーフコミュニティアンケートの集計結果について	9 頁
5	平成 28 年度の栄区セーフコミュニティ活動について	
(1)	こども安全対策分科会	19 頁
(2)	スポーツ安全対策分科会	19 頁
(3)	交通安全対策分科会	20 頁
(4)	児童虐待予防対策分科会	20 頁
(5)	高齢者安全対策分科会	21 頁
(6)	災害安全対策分科会	21 頁
(7)	自殺予防対策分科会	22 頁
(8)	防犯対策分科会	22 頁
6	その他	

■平成29年度 栄区セーフコミュニティ推進協議会 出席票

No.	役職	氏名	職位	出欠	備考
1	会長	小山内 いづ美	栄区長	出席	
2	副会長	磯崎 保和	栄区連合町内会長	出席	
3	〃	川名 愛司	栄警察署長	欠席	栄警察署生活安全課田中課長が代理出席
5	〃	佐藤 重義	栄消防署長	欠席	栄消防署岸副署長が代理出席
6	委員	持田 忠	笠間連合町内会自治会会長	出席	
7	〃	田中 健次	小菅ヶ谷連合町内会自治会会長	出席	
8	〃	細田 利明	本郷中央連合町内会自治会会長	出席	
9	〃	保坂 順弥	本郷第三連合町内会会長	出席	
10	〃	新保 孝雄	上郷西連合町会会長	出席	
11	〃	吉田 敏生	上郷東連合町会会長	出席	
12	〃	日浦 美智江	栄区社会福祉協議会会長	欠席	栄区社会福祉協議会中嶋事務局長が代理出席
13	〃	佐野 勝彦★	栄区民生委員・児童委員協議会会長	欠席	
14	〃	江口 一彦	栄区医師会会長	出席	
15	〃	細川 治	横浜栄共済病院院長	欠席	
16	〃	二宮 三嘉★	栄区薬剤師会会長	欠席	
17	〃	大矢 享	栄歯科医師会会長	出席	
18	〃	片岡 喜久江	子ども安全対策分科会座長	出席	
19	〃	丸山 隆	スポーツ安全対策分科会座長	出席	
20	〃	森 克己	交通安全対策分科会座長	出席	
21	〃	宮崎 良子	児童虐待予防対策分科会座長	出席	
22	〃	竹谷 康生	高齢者安全対策分科会座長	出席	
23	〃	磯崎 保和	災害安全対策分科会座長	出席	
24	〃	小田原 俊成	自殺予防対策分科会座長	出席	
25	〃	保坂 順弥	防犯対策分科会座長	出席	
26	〃	田高 悦子★	傷害サーベイランス分科会座長	出席	
27	参与	大桑 正貴	栄区議員団	欠席	
28	〃	輿石 且子	栄区議員団	欠席	
29	〃	石渡 由紀夫	栄区議員団	欠席	
30	〃	楠 梨恵子	栄区議員団	出席	

平成 29 年度 栄区セーフコミュニティ推進協議会議事録

日 時：平成 29 年 4 月 27 日（木）16 時 30 分～17 時 30 分

場 所：栄区役所新館 1 階健康相談室 A・B

出席者：【委員】

磯崎副会長（栄区連合町内会長）、田中副会長代理（栄警察署生活安全課長）、岸副会長代理（栄消防署副署長）、持田委員（笠間連合町内会自治会会長）、田中委員（小菅ヶ谷連合町内会自治会会長）、細田委員（本郷中央連合町内会自治会会長）、保坂委員（本郷第三連合町内会会長）、新保委員（上郷西連合町会会長）、吉田委員（上郷東連合町会会長）、中嶋委員代理（栄区社会福祉協議会事務局長）、江口委員（栄区医師会会長）、大矢委員（栄歯科医師会会長）、片岡委員（こども安全対策分科会座長）、丸山委員（スポーツ安全対策分科会座長）、森委員（交通安全対策分科会座長）、宮崎委員（児童虐待予防対策分科会座長）、竹谷委員（高齢者安全対策分科会座長）、小田原委員（自殺予防対策分科会座長）、田高委員（傷害サーベイランス分科会座長）、楠参与（栄区議員団）

【栄区役所】

区長、副区長、福祉保健センター長、担当部長、土木事務所長、総務課長、区政推進課長、地域振興課長、福祉保健課長、こども家庭支援課長、土木事務所副所長、危機管理担当係長、企画調整係長、生涯学習支援係長、事業企画担当係長、こども家庭支援課担当係長、こども家庭支援担当係長、生涯者支援担当係長、地域包括ケア推進担当係長、

1 開会

<事務局連絡要旨>

推進協議会の委員や各分科会の委員構成に変更があったのでご連絡します。推進協議会の委員については、3名の交代がありました。交代となったのは、栄区民生委員・児童委員協議会会長の佐野委員、栄区薬剤師会会長の二宮委員、傷害サーベイランス分科会座長の田高委員です。各分科会の委員名簿については、別紙としてつけておりますのでご確認ください。交代・追加となった委員の方には、★を付けています。

なお、本日は栄区民生委員・児童委員協議会会長の佐野委員、栄区薬剤師会会長の二宮委員、横浜栄共済病院院長の細川委員、横浜市会議員の興石参与・石渡参与・大桑参与がご欠席です。

また、今回、分科会の名称の変更がありましたのでご連絡します。「スポーツ・余暇安全対策分科会」については、取組の実態に合わせて、平成 29 年 2 月より名称を「スポーツ安全対策分科会」に改めました。

<区長挨拶要旨>

栄区がセーフコミュニティの認証を取得して 4 年目になりました。皆さまにはセーフコミュニティとして、様々な分科会のきめ細かい活動を通して安全・安心なまちづくりにご協力いただき、ありがとうございます。昨年度の区制 30 周年を通して、お互いが顔の見える関係になったと思うので、

今年度は区の職員ともども、地域に出ていくことで意見交換できる場を作り、皆さまとより連携をして、セーフコミュニティの充実を図っていきたいと思います。

平成 30 年度は再認証の年にあたります。前年の今年度は 9 月に事前指導が実施されるので、今まで皆さまと一緒にやってきた取組を、同じセーフコミュニティ認証自治体の方々や海外からいらっしゃる審査員の方々にしっかり PR できるよう、準備が必要です。具体的な活動の推進とともに、活動の状況をわかりやすくまとめていく必要があります。

これからますます皆さまと力を合わせていきたいと思いますので、より一層のセーフコミュニティの周知や理解にご協力をお願いします。本日の推進協議会では、気が付いたことを積極的に発言していただければと思います。よろしくをお願いします。

2 議事

(1) セーフコミュニティ事前指導について

事務局から、セーフコミュニティ事前指導について説明しました。

【質問・意見】 特になし。

(2) 傷害サーベイランス分科会の体制変更について

事務局から、傷害サーベイランス分科会の体制変更について説明しました。

【質問・意見】 特になし。

(3) プロモーションについて

事務局から、プロモーションについて説明しました。

【質問・意見】 特になし。

(4) セーフコミュニティアンケートの集計結果について

事務局から、セーフコミュニティアンケートの集計結果について説明しました。

【質問・意見】 特になし。

(5) 平成 28 年度の栄区セーフコミュニティ活動について

それぞれの分科会の事務局から、平成 28 年度の取組と今後の方向性について説明しました。

【質問・意見】 特になし。

(6) その他

・セーフコミュニティアンケートの中で記載されている、震度 6 以上の大地震が発生する確率が全国で 2 番目に高いというのは横浜市のことなのか。(吉田委員)

⇒30 年以内に日本で震度 6 弱以上の大地震が発生する確率が全国で 2 番目に高いのは横浜市。(事務局)

⇒これまであまりそのような表現はしていなかったのではないか。(吉田委員)

⇒昨年新たに発表されたデータで、昨年の広報よこはまには掲載したが、まだ周知があまりされていない。今後周知していきたい。(事務局)

⇒かなりショッキングなデータなので、もう少し啓発の材料に使ったほうが良いのではないかと。(吉田委員)

⇒昨年は地域防災拠点の訓練時にもこのデータを紹介していた。横浜は81%と高い確率で大地震が起こると発表されているが、昨年4月に大震災が起きた熊本は同確率が7%だったので、数字についてどのようにとらえるかも重要。機会を見て紹介はしているが、まだ周知が足りないのと、引き続き周知に努めたい。(区長)

・子ども安全対策分科会の中に子ども110番の家の取組があるが、活動や位置づけが非常にあいまいになっており、あまり頼りにされていない実態があるのではないかと考えている。今後どう取り組んでいくのかを伺いたい。(吉田委員)

⇒子ども110番の家は、玄関の前にプレートを表示し、不審者に会った場合に子どもが駆け込めるように、ということで地域の方々にご協力をいただいている。区のPTA連絡協議会が中心となって活動を行い、現在区内で1,200軒ほど登録をされているが、主な活動としては、PTAの行事等で啓発活動を行っている。位置づけとしては、基本的には犯罪抑止力の効果ということで、それがあることによって不審な行動をする人が近寄らないという効果を目的とした取組である。(事務局)

⇒実際に効果を発揮していないのではないかと。(吉田委員)

⇒実際に110番の家に登録されている家に子どもが駆けこんだという例は今のところあまりない。PTAは、「110番の家がある」ということを1年生の子どもたちに親を通じて話をしており、親からの教育の一環で通学路を歩いている時に場所を確認してもらっている。親も子ども、いざとなったらこういうところで受け止めてくれるという安心感を持つことができていると聞いている。(片岡委員)

⇒PTAやスクールゾーンの委員がその地域のお宅へお願いして表示をしてもらっているのか。(吉田委員)

⇒ずっと長く表示しているところもあるが、新しく表示してもらえるとという家があればお願いをしている。(片岡委員)

⇒街を歩いていて、駆け込みにくいと感じる。(吉田委員)

⇒全部のご家庭が昼間にご在宅というわけでもない。そういう場所では、犯罪抑止力や子どもたちへの安心感を与えるものとして重要なプレートだと思う。(片岡委員)

⇒犯罪抑止力などではなく、スクールゾーン協議会の方々が積極的にこのような制度の見直しをしていく方向にしたほうが良いのではないかと。(吉田委員)

⇒確かに、ただ放置しておくのではなく、もう少しそれに対する活動をしたほうが良いかもしれない。区P連の方も分科会のメンバーに入っているのと、これからどのような活動をしていけば良いのか考えていきたい。

・もう認証を取得してから4年になるので、分科会の取組と開催状況、主な活動のほかに、主な成果、主な結果が書かれていたほうが良いのでは。それが書けるようになれば、区民の皆さんからの認知度も高くなるのではないかと。何を指標にして取組を進めるかという指標の決め方もサーベイランス分科

会で指摘をいただいているので、それもふまえて、結果が書けるように工夫していかなければならない。(竹谷委員)

⇒結果やその過程が見える化していくために、今回傷害サーベイランス分科会の実務チームを発足させた。昨年度までの成果もデータとしてあるが、より緻密に分かりやすく示せるよう努力していきたい。(区長)